



淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。
第18回目は、塚本地域です。

①塚本神社

昔、塚本村の北側に広大な境内を有し、住民より崇拜を集めていた「八阪神社」は、明治42年に中津の富島神社に合祀されました。戦後、住民の間から神社復興の気運が高まり、昭和36年に「塚本神社復興委員会」が結成され、翌37年に社務所、昭和38年に本殿拝殿が落成しました。

普段は、静かな塚本神社ですが、毎年7月19日と20日に行われる夏祭りは大変賑やかで、塚本駅前ロータリーでは、あばれ太鼓の、勇壮で迫力ある姿を見ることができます。

地域の住民によって復興された伝統が、今も地域に息づいています。



②まちの人々に守られて

閑静な住宅地の中に綺麗に整備された祠があります。この祠は、昔大阪深江に住む法明上人が、塚本の地に、念仏宗の開祖、教信和尚の真筆阿弥陀仏の画像を祀る供養塚をつくるようにとの夢のお告げを受けて作られ、霊験あらたかと評判だったそうです。



その後も地元の人々に手厚く保護され、貴重な石仏は殆んど失われる事なく保存されているとの事です。

また、隣の西淀川区まで数歩という場所には、「東海道線下淀川鉄橋際 延命地蔵尊」が祀られています。ベンチも用意されているのでお散歩の休憩に立ち寄ってみてはいかがでしょうか?



淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!

やまちゃんの“ごころ”

淀川区長 山本 正広



淀川区を支えるボランティアの力

淀川区の広報誌「よどマガ!」は音訳版も作成していますが、先日、この音訳を担当されているボランティアグループ「こもれび」の皆さんの10月号収録現場にお邪魔させていただきました。

苦労話をお聞きすると、「私は方言があるのでイントネーションなどに気を付けています」「専門用語が難しいですね」「イラストでキャラクターにせりふがあったりすると、どんな感じの声でしゃべればいいのか悩みます」などいろいろ。なるほど、こんなご苦勞に支えられて、毎月音訳版をお届けすることができているのですね。

突然「区長さん! せっかくやからご自分のコラム、朗読してください!」と頼まれました。区役所ホームページで「情報発信」、「よどマガ!」、「音訳版」、「10月号」、「やまちゃん

の“ごころ”と順にクリックしていただければ、私の肉声での音訳がお聞きになれます(宣伝みたいですみません)。

9月、10月は区民まつり(雨が本当に残念でした!)、敬老会、共同募金活動などなど例月にも増して地域の皆さんのパワーを実感しました。先日の選挙でも投票所の運営等、様々なご協力をいただきました。これからも区民の皆さんがニコニコ笑顔で暮らしていただけるよう地域とともに頑張っています!



▲ボランティアグループ「こもれび」の皆さんと一緒に。

